

# ダクト計算プログラム

国土交通省 建築設備設計基準令和3年版準拠

*Windows*版

操作ガイド

# < ダクト計算操作ガイド >

## 目 次

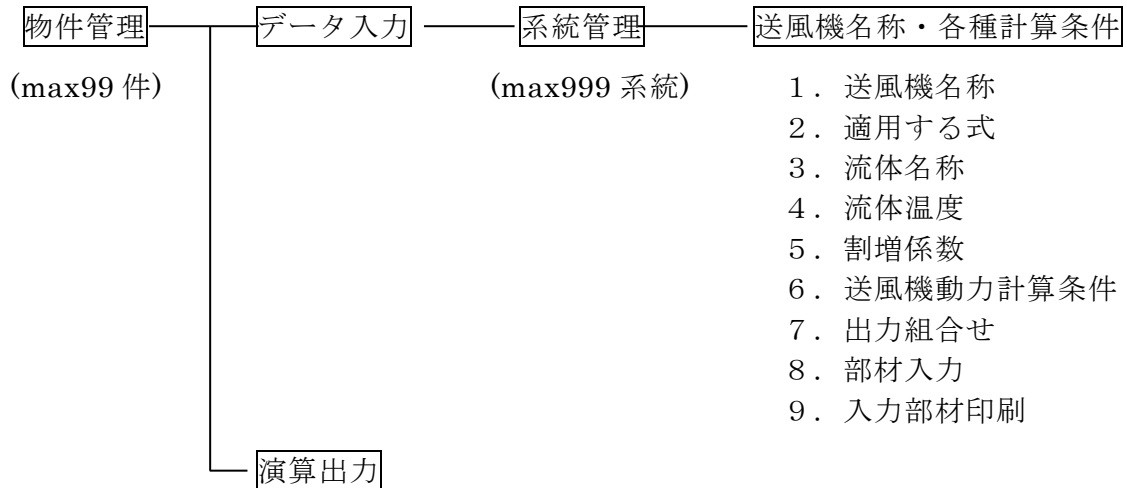
第1章. プログラム全体概要 .....	1
1. 全体概要 .....	1
2. 各種ファイルについて .....	1
2-1. プログラム .....	1
2-2. 物件データ .....	2
2-3. マスターデータ .....	2
2-4. ワークファイル .....	2
第2章. 起動メニューと物件選択 .....	3
1. 起動メニュー .....	3
2. 物件データの選択 .....	4
3. 物件データの入出力 .....	5
第3章. データの作成 .....	6
1. 送風機系統の入力 .....	6
2. 各種計算条件の入力 .....	7
3. 部材の入力 .....	7
3-1. 部材入力 .....	8
3-2. 上挿入 .....	11
3-3. 下挿入 .....	12
3-4. 削除 .....	13
3-5. ソート、区画変更、複写 .....	14
4. 出力組合せ .....	17
5. 入力部材の印刷 .....	18
第4章. ダクト計算出力 .....	19
1. 出力系統の設定 .....	19
2. 出力計算条件の設定 .....	20
3. ダクト計算書印刷 .....	23

第5章. マスターデータメンテナンス .....	24
1. マスターデータの入力 .....	24
1-1. ダクト材料の入力 .....	24
1-2. ダクト部材名称・特性入力 .....	24
1-3. ダクト部材入力値範囲入力 .....	25
1-4. 流体粘度入力 .....	25
1-5. 流体密度入力 .....	26
1-6. サイズ決定基準入力 .....	27
1-7. シミュレーション基準入力 .....	27
1-8. 送風機全圧効率入力 .....	28
1-9. 送風機吐出サイズ入力 .....	29
2. マスターデータの印刷 .....	29
第6章. システムユーティリティー .....	30
1. ドライブ環境の設定 .....	30
2. 印刷環境の設定 .....	32

# 第1章 プログラム全体概要

## 1. 全体概要

### A. ダクト計算



### B. マスターデータメンテナンス

- |               |          |
|---------------|----------|
| 1. ダクト材料      | (登録 20)  |
| 2. 部材名称・特性-1  | (登録 230) |
| 3. " "・特性-2   | (登録 230) |
| 4. 部材入力範囲     | (登録 24)  |
| 5. 流体粘度       | (登録 10)  |
| 6. 流体密度       | (登録 10)  |
| 7. サイズ決定基準    | (登録 10)  |
| 8. シミュレーション基準 | (登録 10)  |
| 9. 送風機全圧効率    | (登録 15)  |
| 10. 送風機吐出サイズ  | (登録 20)  |
| 11. マスターデータ印刷 |          |

## 2. 各種ファイルについて

### 2-1. プログラム(¥Tdc\_w¥KDuctR3)

KDuctR3.exe	プログラムファイル
Fileset.dat	ランダムファイル管理用ファイル

## 2-2. 物件データ( ¥Tdc\_w¥KDuctR3¥Project )

Bname	.dt	物件名称
Duct***	.dt	入力系統データ
Keisan_*	.dt	各種計算条件登録用のデータ
Du_a****	.txt	ファイル出力による算出データ
Du_b****	.txt	ファイル出力による算出データ
Du_c****	.txt	ファイル出力による算出データ
P_list	.txt	ファイル出力による算出データ
D_mga***	.txt	表示データ用ファイル
D_mgb***	.txt	表示データ用ファイル
Kaisyu	.dt	表紙の出力用データ

## 2-3. マスターデータ( ¥Tdc\_w¥KDuctR3¥Masdt )

Duc_1	.dt	材料名称
Duc_10	.dt	送風機吐出サイズ
Duc_2b	.dt	ダクト部材名称・特性1 (便覧版)
Duc_2k	.dt	ダクト部材名称・特性1 (国交省)
Duc_3b	.dt	ダクト部材名称・特性2 (便覧版)
Duc_3k	.dt	ダクト部材名称・特性2 (国交省)
Duc_4b	.dt	ダクト部材・入力値範囲 (便覧版)
Duc_4k	.dt	ダクト部材・入力値範囲 (国交省)
Duc_5	.dt	流体の登録名称
Duc_5a**	.dt	流体粘度・登録数値
Duc_5b**	.dt	回帰分析後の近似値
Duc_5c**	.dt	作業用データ
Duc_6a**	.dt	流体密度・登録数値
Duc_6b**	.dt	回帰分析後の近似値
Duc_6c**	.dt	作業用データ
Duc_7	.dt	サイズ決定 基準用の入力データ
Duc_8	.dt	シミュレーション基準用の入力データ
Duc_9	.dt	送風機の登録名称
Duc_9a**	.dt	送風機全圧効率・入力データ
Duc_9b**	.dt	回帰分析後の近似値
Duc_9c**	.dt	作業用データ
Duc_fset	.dt	ファイル出力内容設定データ

## 2-4. ワークファイル( ¥Tdc\_w¥KDuctR3¥Work )

Ctrl	.dt	…… 作業中の各種変数
Ctrl_mas	.dt	…… 作業中の各種変数
Ctrl_mpr	.dt	…… 作業中の各種変数
Drvset	.dt	…… ディレクトリ設定
Mpr_0	.dt	…… 作業中の各種変数
Prtset	.dt	…… 印刷環境設定
Ptp*	.dt	…… 作業中の各種変数

## 第2章. 起動メニューと物件選択

### 1. 起動メニュー

TDC技術計算プログラム(図2-1)のダクト計算プログラムを選択すると「起動メニュー」(図2-2)が表示されます。

(エクスプローラで¥Tdc\_w¥KDuctR3のKDuctR3.exeをダブルクリックすることにより同様に起動させることができます。)

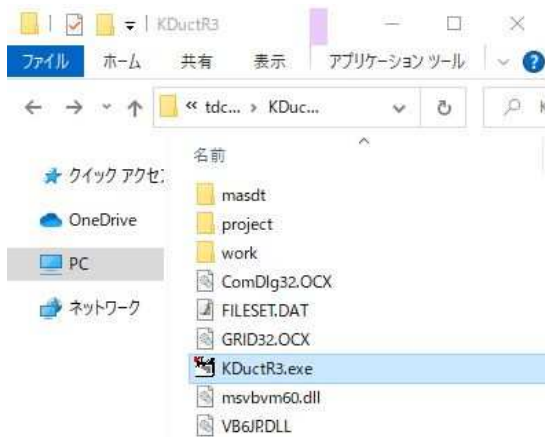


図 2 - 1

C:¥★\_作業ファイル¥★エラー修正の確認とか¥210915¥画像(ダクトダクト計算プログラムは

- 『A. ダクト計算』
- 『B. マスターデータメンテナンス』
- 『C. システムユーティリティ』
- 『 終 了 』

からなっています。



図 2 - 2

《入力操作》

- 「A. ダクト計算」 ..... ダクト抵抗計算を行う場合
- 「B. マスターデータメンテナンス」 ..... マスターデータメンテナンスを行う場合
- 「C. システムユーティリティ」 ..... ドライブの変更、印刷環境の設定を行う場合
- 「終了」 ..... ダクト計算プログラムを終了する場合

メニューの下に使用するプログラムと物件データがあるフォルダが表示されております。使用するプログラムおよび物件データのドライブを変更したい場合は「C. システムユーティリティ」の『ドライブ環境設定』で変更ができます。

本プログラムのフォルダは下記名称で作動します。

プログラム	¥Tdc_w¥KDuct3
物件データ	¥Tdc_w¥KDuct3¥Project

## 2. 物件データの選択

[起動メニュー]で『A. ダクト計算』を選択すると[1. 物件管理] (図 2-3)が表示されます。

### 1. 物件管理は

1. 新規作成
2. 更新
3. 削除
4. 複写
5. 終了

からなっています。

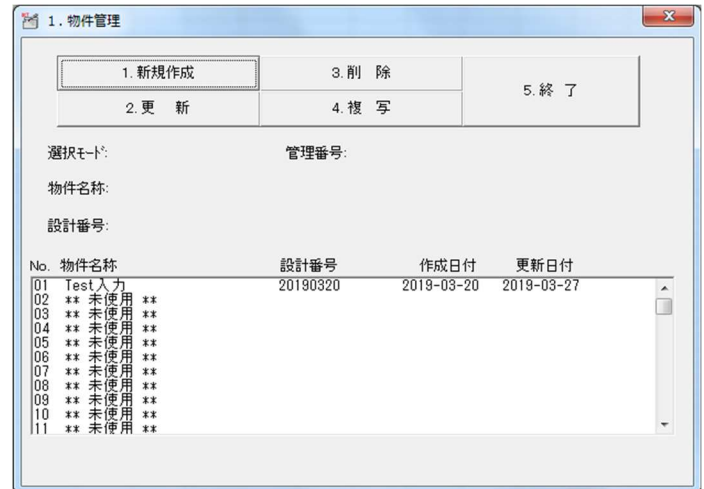


図 2-3

### 《入力操作》

- |           |       |                             |
|-----------|-------|-----------------------------|
| 「1. 新規作成」 | ..... | 新規に物件を入力する場合                |
| 「2. 更新」   | ..... | すでに入力済み物件データを更新あるいは印刷などする場合 |
| 「3. 削除」   | ..... | 物件を削除する場合                   |
| 「4. 複写」   | ..... | 入力済み物件を複写して新しい物件として追加登録する場合 |

### [新規作成]

物件 No.は自動的に設定されます。  
物件名称、設計番号を入力します。  
管理番号は入力する必要はありません。

### [更新]

リストから更新したい物件を選択します。  
物件名称、設計番号は変更できます。

#### [削除]

リストから削除したい物件を選択します。

確認のメッセージボックスが表示されますので削除する場合は“OK”ボタンをクリックします。削除したくない場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。

#### [複写]

リストから複写したい物件を選択します。

物件名称、設計番号は変更できます。

#### [終了]

起動メニューに戻ります。

### 3. 物件データの入出力

[1. 物件管理] の『1. 新規作成』あるいは『2. 更新』を選択した場合、[A. 入出力選択] (図 2-4) が表示されます。

#### A. 入出力選択は

1. データ入力
2. 演算出力
3. 終了

からなっています。

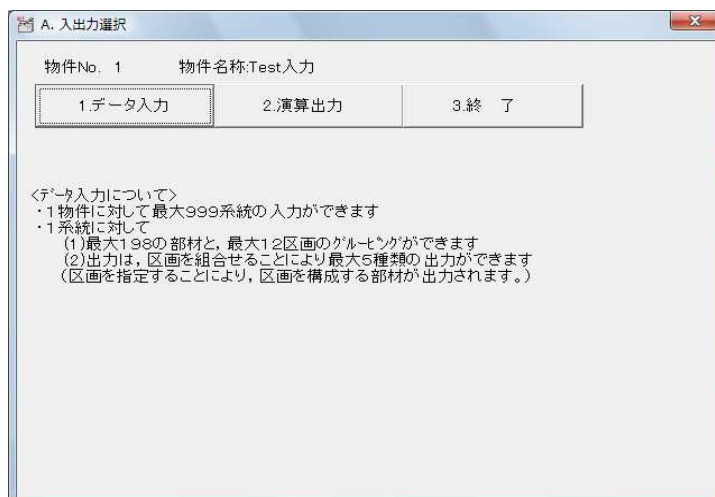


図 2-4

#### 《入力操作》

- [1. データ入力] …………… 送風機系統名称、ダクト部材などの入力を行う場合
- [2. 演算出力] …………… ダクト計算を行う場合



### 第3章 データの作成

#### 1. 送風機系統の入力

[A. 入出力選択] で『1. データ入力』を選択すると [2. 送風機系統入力] (図 3-1) が表示されます。



送風機系統入力は

1. 新規作成
2. 新規 (複写)
3. 新規 (途中追加)
4. 新規 (複写+追加)
5. 更新
6. 削除
7. 組替
8. 終了

図 3-1

からなっています。

#### 《入力操作》

- 「1. 新規作成」…………… 新規に送風機系統を入力する場合
- 「2. 新規 (複写)」…………… 入力済み送風機系統を複写して新しい系統として追加登録する場合
- 「3. 新規 (途中追加)」…………… 入力済みデータの途中に新しい系統を追加する場合
- 「4. 新規 (複写+追加)」…………… 入力済みデータを複写して途中に新しい系統を追加する場合
- 「5. 更新」…………… 入力済み系統データを更新あるいは印刷などする場合
- 「6. 削除」…………… 系統を削除する場合
- 「7. 組替」…………… 系統 No. を変更する場合

## 2. 各種計算条件の入力

[2. 送風機系統入力] の『1. 新規作成』～『5. 更新』を選択した場合 [1. 送風機名称、各種計算条件] (図 3-2) が表示されます。



図 3-2

### 《入力操作》

- |                  |  |
|------------------|--|
| [1. 送風機名称]       | 送風機系統名称を入力します。                                   |
| [2. 適用する式]       | 国交省基準あるいは空調便覧基準のいずれかを選択します。                      |
| [3. 流体名称]        | リストより選択します (国交省基準の場合は流体条件固定のため選択できません)。          |
| [4. 流体温度]        | 流体の温度を入力します (国交省基準の場合は温度固定のため入力できません)。           |
| [5. 割増係数 $K_p$ ] | 割増係数を入力します。                                      |
| [6. 送風機動力計算条件]   | 送風機の型式、型番、吐出動圧の扱い方(計算上)、送風機風量をそれぞれ選択あるいは入力設定します。 |

## 3. 部材の入力

[1. 送風機名称、各種計算条件] (図 3-2) “部材入力” をクリックした場合 [ダクト部材入力リスト] (図 3-3) が表示されます。

### 《入力操作》

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| (1) 区画             | 区画 No、区画名称を選択あるいは入力します。   |
| (2) 材料             | ダクト材料を選択します。              |
| (3) 部材名            | 部材を選択します。                 |
| (4) サイズ、流量、長さ、個数など | 各々の要素を入力します。              |
| (5) 上挿入            | 指定した No.の前に部材を挿入する場合      |
| (6) 下挿入            | 指定した No.の後に部材を挿入する場合      |
| (7) 削除             | 指定した範囲の No.を削除する場合        |
| (8) ソート            | 入力した部材を区画順に並べ換える場合        |
| (9) 複写             | すでに入力したデータを複写して使用する場合     |
| (10) 区画変更          | 指定した範囲の No.の区画 No.を変更する場合 |

### 3-1. 部材入力

#### ○新規入力の場合

図 3-3 が表示されます。  
NO.1 の区画を選択します。  
図 3-4 が表示されます。



図 3-3

区画をリストより選択します。区画名称が必要な場合は区画名称を先に入力します。

図 3-5 が表示されます。

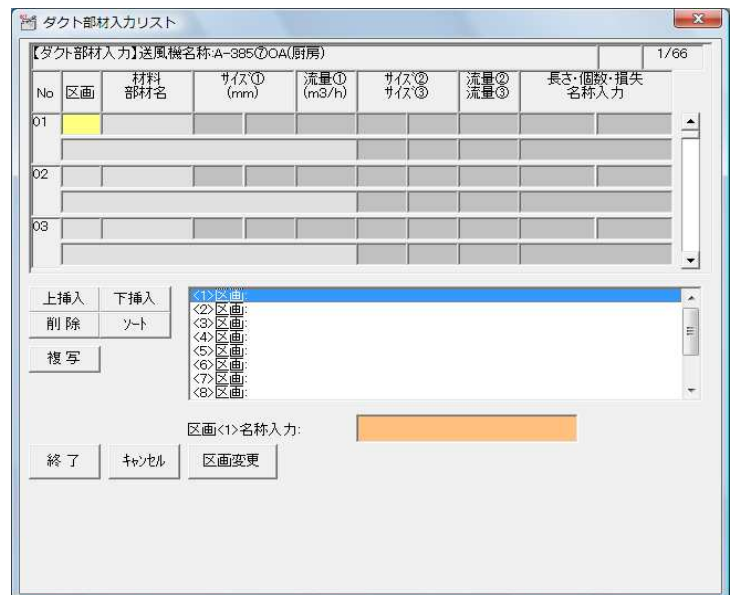


図 3-4

材料をリストより選択します。  
図 3-6 が表示されます。

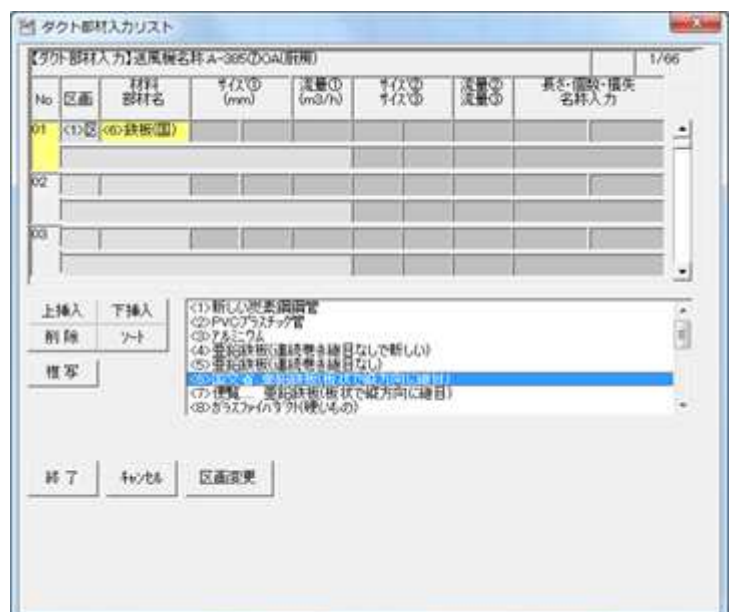


図 3-5

部材をリストより選択します。  
 図 3-7 が表示されます（矩形直管の例）。

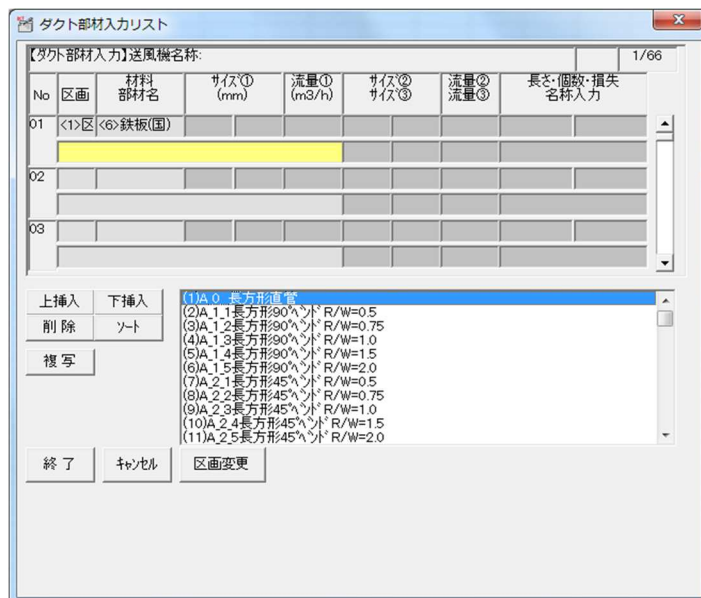


図 3-6

サイズ、流量、長さを入力します。

入力はそれぞれリターンキーで確定させます。

データ入力後リターンキーを押すと、  
 図 3-8 が表示されます（No.1 に直管  
 500×400、風量 2500 m<sup>3</sup>/H、長さ  
 12.5m のデータが入力されています）。

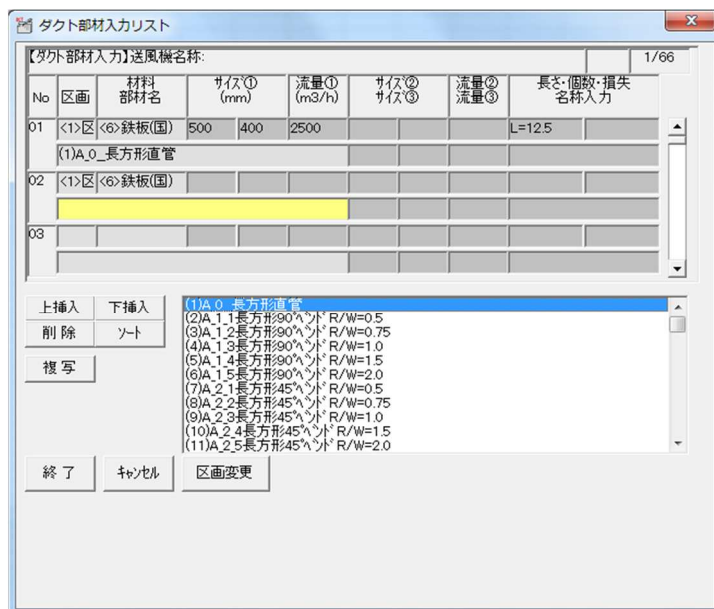


図 3-7

区画 No、材料が同一の場合はリターンキーを押します（区画 No、材料を変える場合は最初に行った操作を繰り返してください）。

図 3-9 が表示されます。

次のデータを入力します。

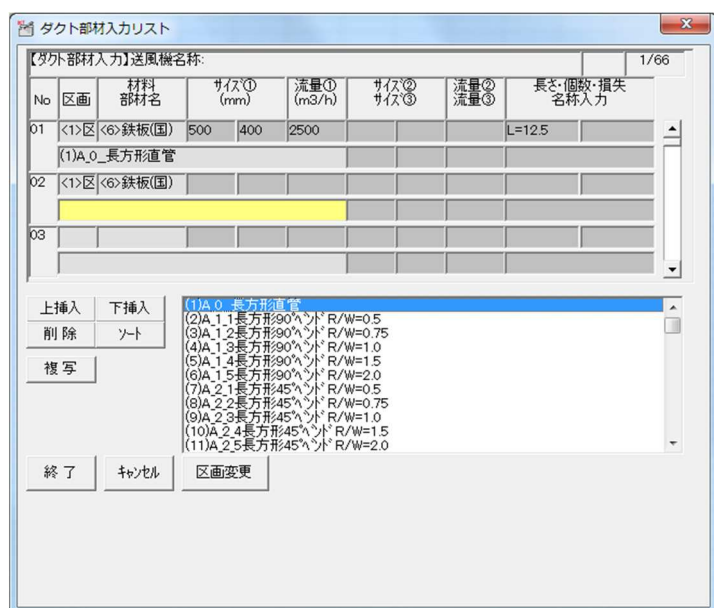


図 3-8

リストより部材を選択します（例では区画バンド R/W=1.0 を選択しました）。  
 図 3-10 が表示されます。

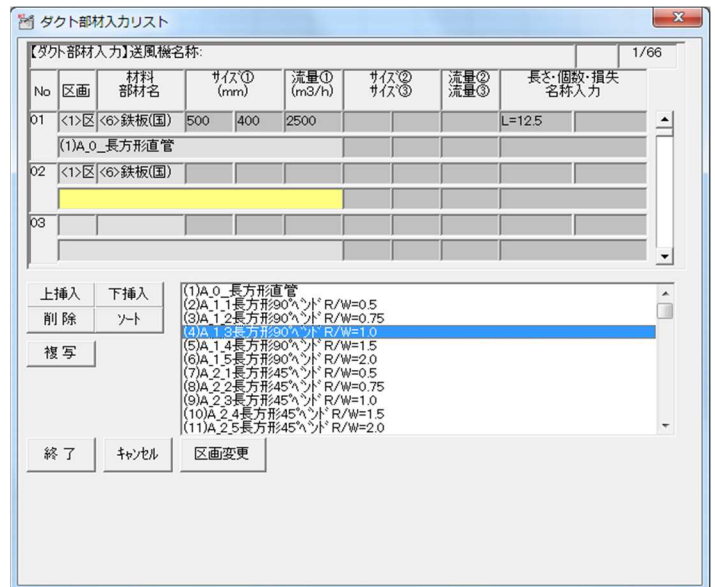


図 3-9

サイズ、風量、個数を入力します。  
 サイズ、風量は直前に入力したデータが自動的に入力されています。データを修正したい部分があれば入力しなおします。入力データはリターンキーで確定します。

図 3-11 が表示されます。

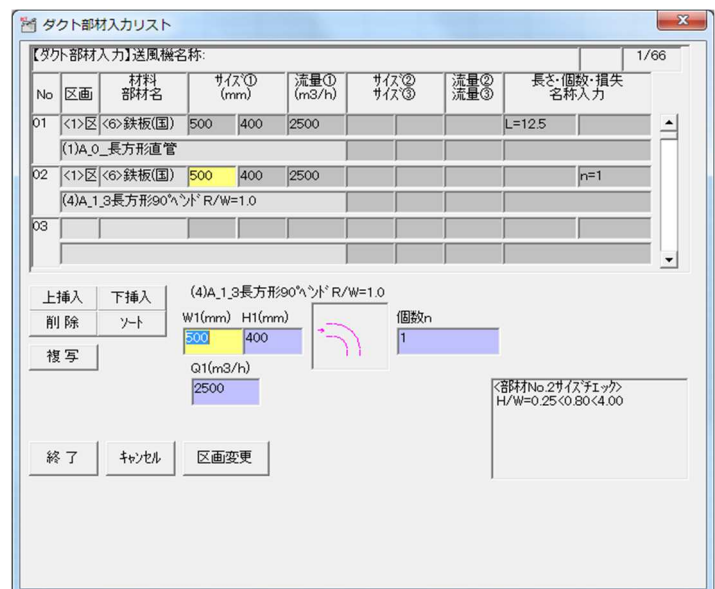


図 3-10

以降同様の操作により入力します。



図 3-11

## ○更新の場合

更新したい No. を選択します（画面右側のスクロールバーにより更新したい No. を表示させ、その No. をクリックするか、カーソルキーでフォーカスをあわせます）。

更新したいデータ部分をクリックすると図 3-13 のように画面が変わります（例は NO.1 直管の長さ L を更新）。



図 3-12

データを入力し、リターンキーで確定させます。他のデータも同様の操作により更新させます。



図 3-13

### 3-2. 上挿入

指定したデータの前に部材データを挿入する場合、前にデータを挿入したい No. を選択して『上挿入』をクリックします。

図 3-14 が表示されます（例は No.2 の前に部材データを挿入する場合です）。

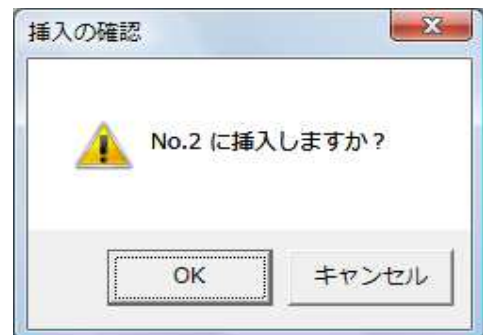


図 3-14

メッセージボックスの『OK』をクリックすると、図 3-15 が表示されます。

No.2 に追加したい部材データを入力します。



図 3-15

### 3-3. 下挿入

指定したデータの後に部材データを挿入する場合、後ろにデータを挿入したい No.を選択して『下挿入』をクリックします。

図 3-16 のメッセージボックスが表示されます (例は No.1 の次に部材データを挿入します)。

メッセージボックスの『OK』をクリックすると図 3-17 が表示されます。



図 3-16

No.2 に追加したい部材データを入力します。



図 3-17

### 3-4. 削除

削除したいデータ範囲のはじめの No. を選択し『削除』をクリックします。

図 3-19 が表示されます。



図 3-18

削除したいデータ範囲の終わりの No. を入力します。

『削除開始 (中止)』をクリックします。

図 3-20 が表示されます。



図 3-19

メッセージボックスの『OK』をクリックすると指定した No.1~No.2 のデータが削除されます。

『キャンセル』をクリックすると削除作業が中止されます。

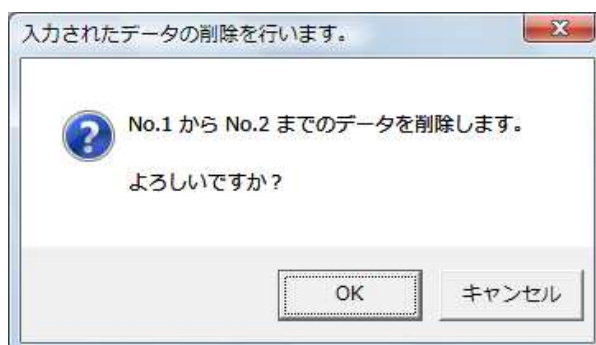


図 3-20



### 3-5. ソート、区画変更、複写

『ソート』をクリックすると図 3-22 が表示されます。

区画を変更したいデータの No. を選択し『区画変更』をクリックすると図 3-23 が表示されます。

『複写』をクリックすると図 3-25 が表示されます。



図 3-21

『ソート』をクリックしたのちに表示されるメッセージボックスの『OK』をクリックすると区画 No.順に並び替えられます。

『キャンセル』をクリックするとソートを中止します。

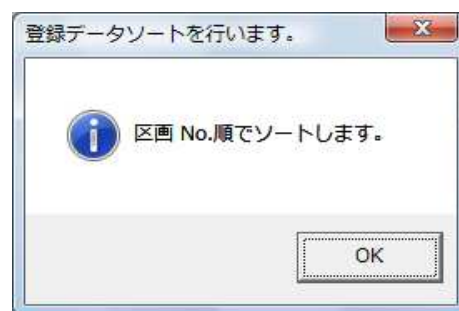


図 3-22

『区画変更』をクリックしたのち、区画を変更したい最後のデータ No.と変更後の区画 No.を入力します（例は No.1～No.2 の区画 No.を 2 に変更）。

『変更開始（中止）』をクリックします。

図 3-24 が表示されます。



図 3-23

メッセージボックスの『OK』をクリックすると指定した No.1～No.2 のデータの区画が 2 に変更されます。  
『キャンセル』をクリックすると区画変更作業が中止されます。

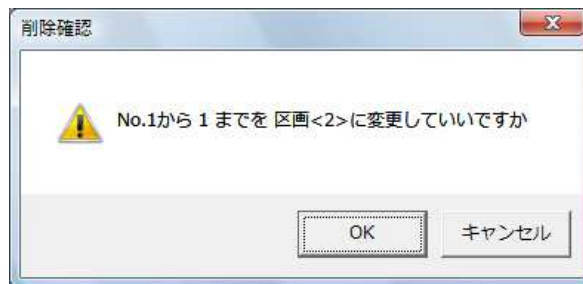


図 3-24

『複写』をクリックしたのちに表示されるメッセージボックスの『OK』をクリックすると、現在入力中のデータも複写することが可能となります。

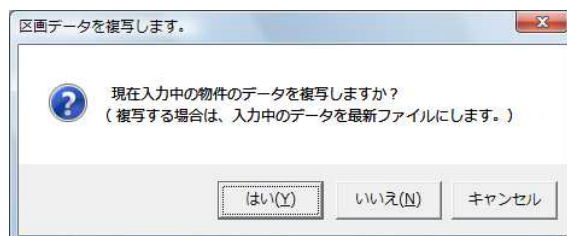


図 3-25

メッセージボックスの『いいえ』をクリックすると現在入力中のデータを複写することは不可能となります。  
図 3-26 が表示されます。

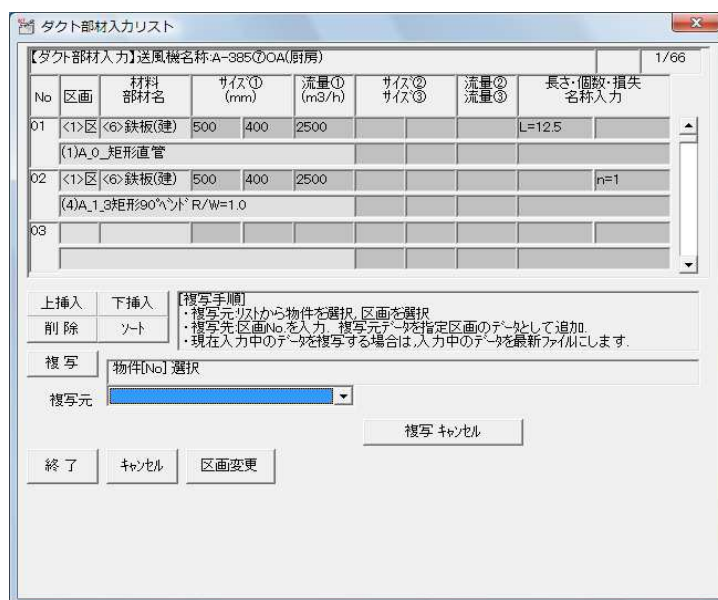


図 3-26

複写元をクリックします。  
図 3-27 が表示されます。

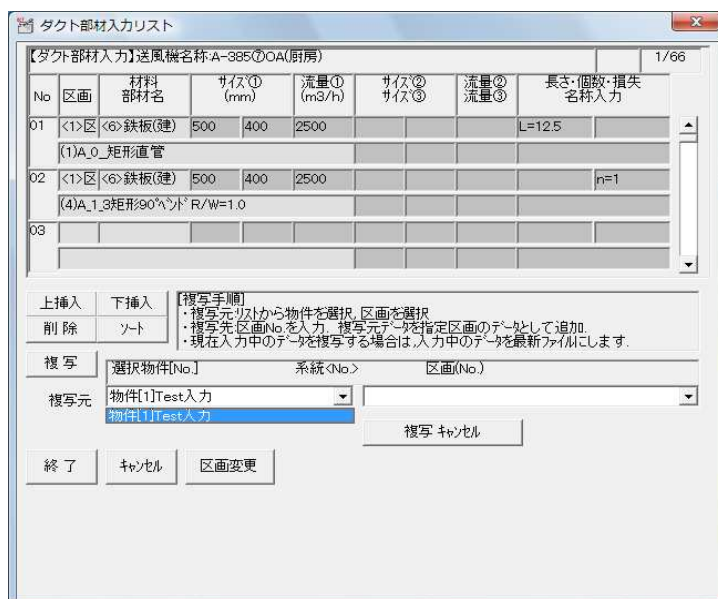


図 3-27

選択物件のリストより複写元を選択します。次いで系統 No.区画 No.のドロップダウンリストをクリックします。

画面は図 3-28 のようになります。

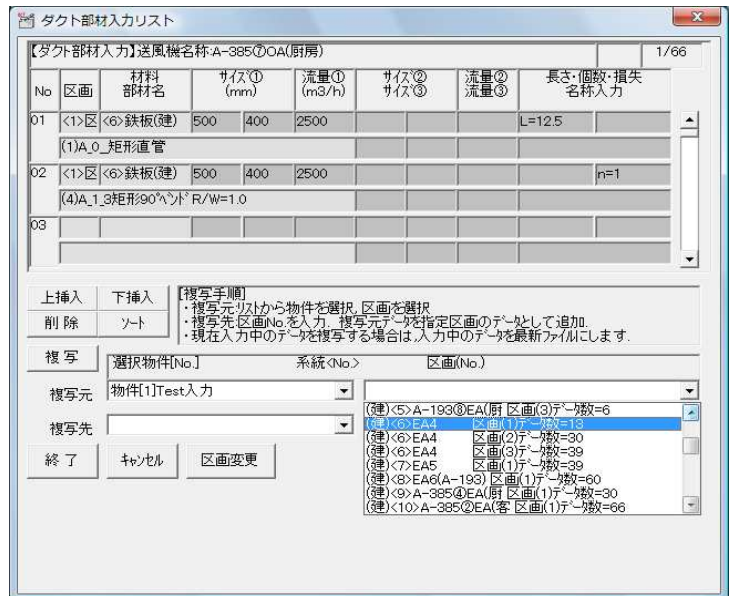


図 3-28

系統 No.区画 No.のリストより複写元を選択します。

画面は図 3-29 のようになります。

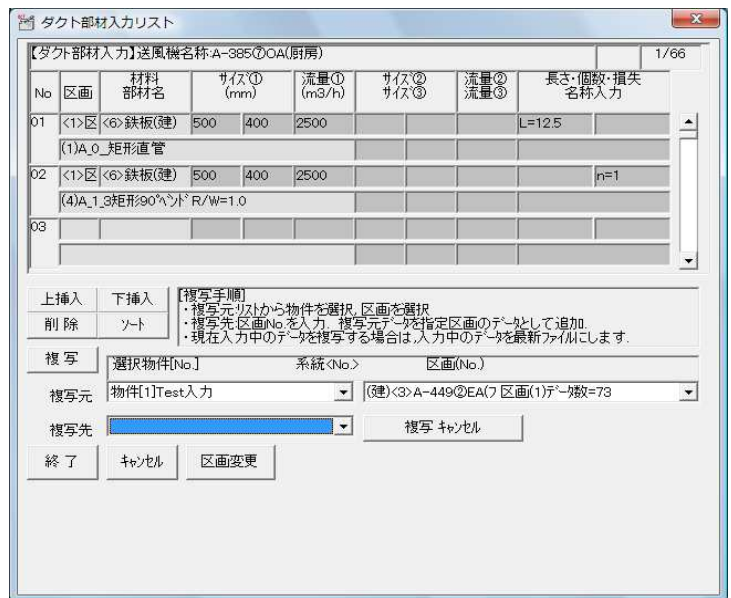


図 3-29

複写先をクリックします。

画面は図 3-30 のようになります。



図 3-30

複写先区画 No.をリストより選択します。

画面は図 3-31 のようになります。



図 3-31

『複写実行・中止』をクリックします。

図 3-32 が表示されます。

メッセージボックスの『OK』をクリックすると指定したデータが指定した区画に複写されます。

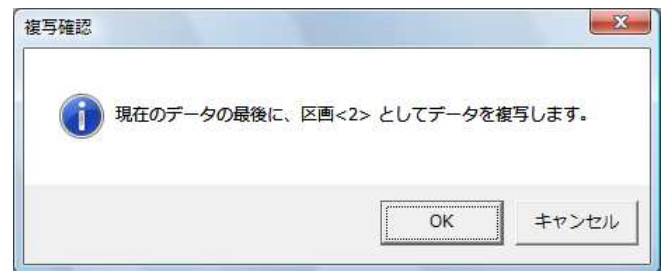


図 3-32

『キャンセル』をクリックすると複写作業が中止されます。

#### 4. 出力組合せ

[2. 送風機系統入力] の『1. 新規作成』～『5. 更新』を選択した場合 [1. 送風機名称・各種計算条件] (図 3-33) が表示されます。

出力組合せをクリックすると図 3-34 が表示されます。



図 3-33

計算ルート（組合せ番号）として5ケース登録できます。

組合せ番号をリストより選択し、登録メモを入力します。

送風機動力計算の有無で必要な場合はチェック（レ印）をつけます。

静圧（計画値）を入力します。入力した場合には、計算結果のまとめで計画値と計算値の比較ができます。



図 3 - 34

出力区画と出力順位を入力します。

入力した区画をすべて区画順に出力する場合は“全区画設定”をクリックします。

逆に設定されている出力する区画と出力順位の設定をすべて解除する場合は、“全区画クリア”をクリックします。

## 5. 入力部材の印刷

[2. 送風機系統入力] の『1. 新規作成』～『5. 更新』を選択した場合、[1. 送風機名称・各種計算条件] (図 3-35) が表示されます。

入力部材印刷をクリックすると、入力部材が印刷出力されます。

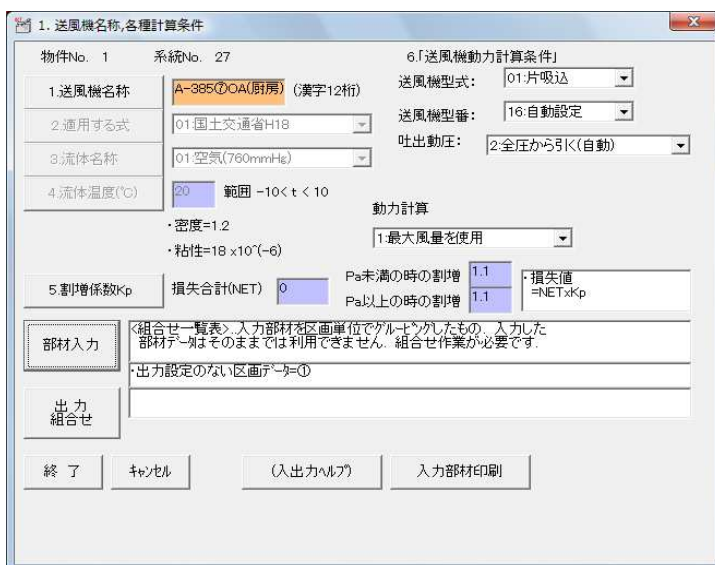


図 3 - 35

## 第4章 ダクト計算出力

### 1. 出力系統の設定

[1. 物件管理] の『1. 新規作成』あるいは『2. 更新』を選択した場合、[A. 入出力選択] (図 4-1) が表示されます。

『2. 演算出力』を選択すると [2. 出力計算条件] (図 4-2) が表示されます。

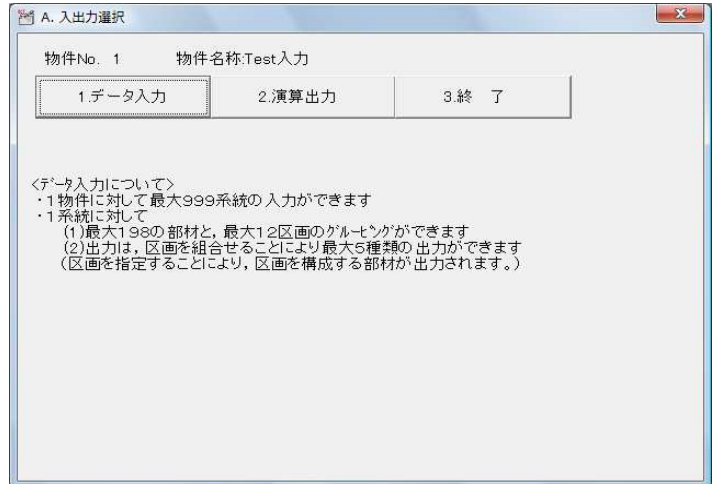


図 4-1

出力系統の設定方法を範囲指定あるいは直接指定のいずれかを選択します。次いで [出力系統設定] (図は範囲を指定) をクリックします。

図 4-3 が表示されます。

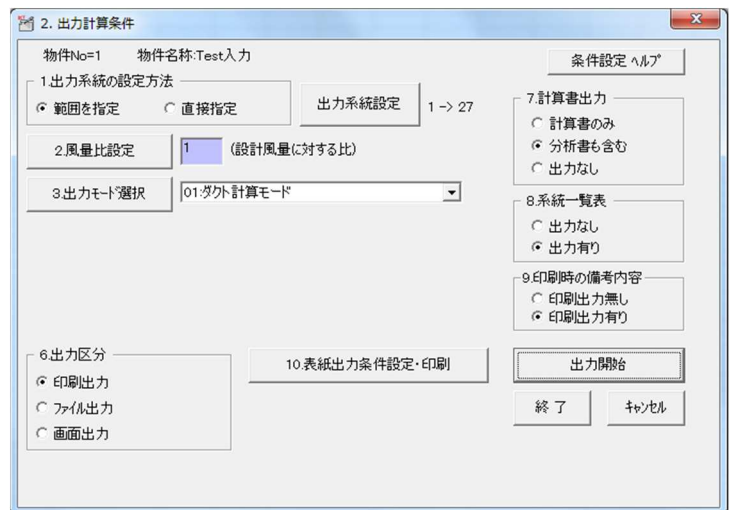


図 4-2

出力したい系統を入力します (図は No.001~No.002 までを出力系統として設定)。



図 4-3

出力系統の設定方法を直接指定とした場合は図 4-4 が表示されます。

出力したい系統にチェックをつけます (図は No.001~No.020 を出力系統として設定)。



図 4-4

## 2. 出力計算条件の設定

[2. 出力計算条件] (図 4-2) で出力計算条件を設定します。

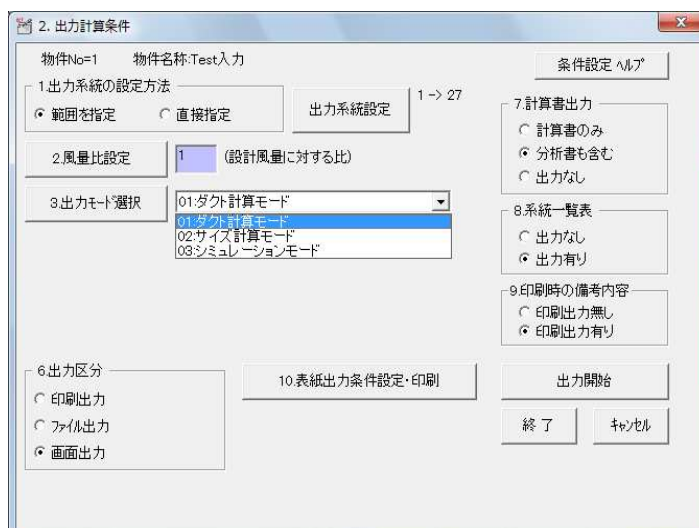


図 4-5

### 《入力操作》

風量比設定 .....

部材入力で入力した設計風量に対する比率を設定します。デフォルトは 1.0 です。

出力モード選択 .....

計算モードを選択します。

出力区分 .....

出力方法を選択します。

計算書出力 .....

計算書出力の内容を選択します。

系統一覧表 .....

系統一覧表の出力の有無を選択します。

表紙出力条件設定・印刷

表紙の設定・印刷を行なう場合に選択します。

出力モードリストより出力モードを選択します。

ダクト計算モード …… 入力したデータにもとづき計算します。通常の計算はこのモードを使用して行います。

サイズ計算モード …… 入力したデータを区画ごとに設定した条件でサイズを変更し計算させる場合にこのモードを使用します。

シミュレーションモード …… あらかじめ設定した10パターンでサイズ計算モードと同様の計算を行います。

サイズ計算モードの場合は次の操作を行います。

「02.サイズ計算モード」を選択します。  
画面は図 4-6 のようになります。

『サイズ決定基準』をクリックしリストより計算に使用するサイズ決定基準を選択します。

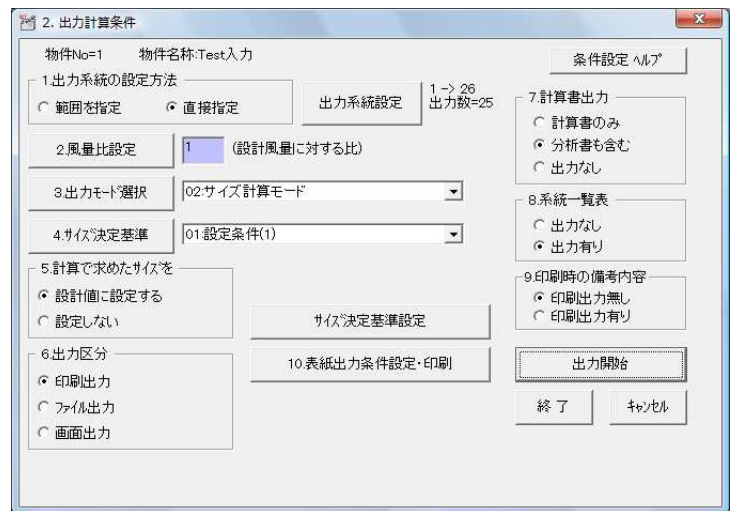


図 4-6

サイズ決定基準を新たに設定する場合は『サイズ決定基準設定』をクリックします。

図 4-7 が表示されます。

〈現在入力中の項目〉ドロップダウンリストをクリックするとリストが表示されます (図 4-8)。



図 4-7



リストより設定する No.を選択します (図は No.01)。  
 図 4-9 のようになります (図は No.02 を選択)。

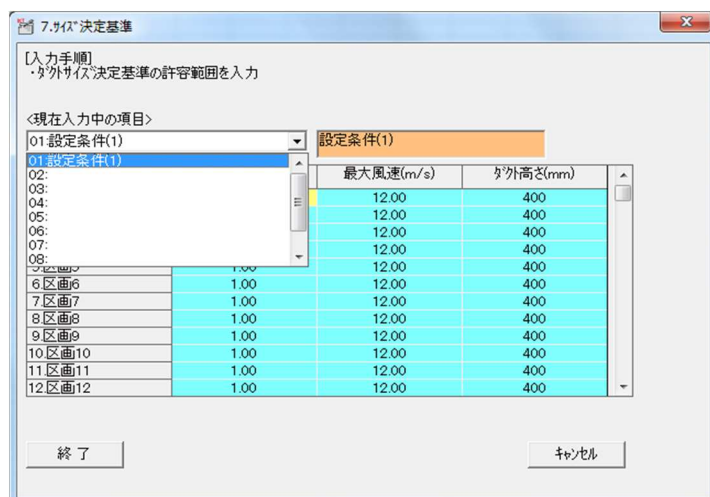


図 4-8

名称、サイズ決定基準を入力します。



図 4-9

### 3. ダクト計算書印刷

出力系統の設定、出力計算条件の設定が完了したのち『出力開始』をクリックすると計算書が印刷出力されます。

出力開始をしても印刷出力されない場合は、次のことを確認してください（プリンタに関することは除く）。

1. 出力系統を設定してあるか（図 4-10）
2. 出力区分が印刷出力になっているか（図 4-10）
3. 計算書出力、系統一覧表の印刷したい部分が『出力なし』とっていないか（図 4-10）
4. 出力組合せが設定されているか（図 4-11）

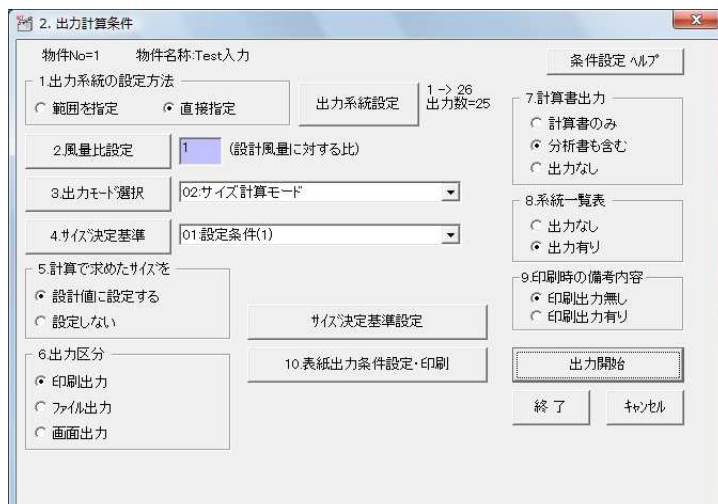


図 4-10

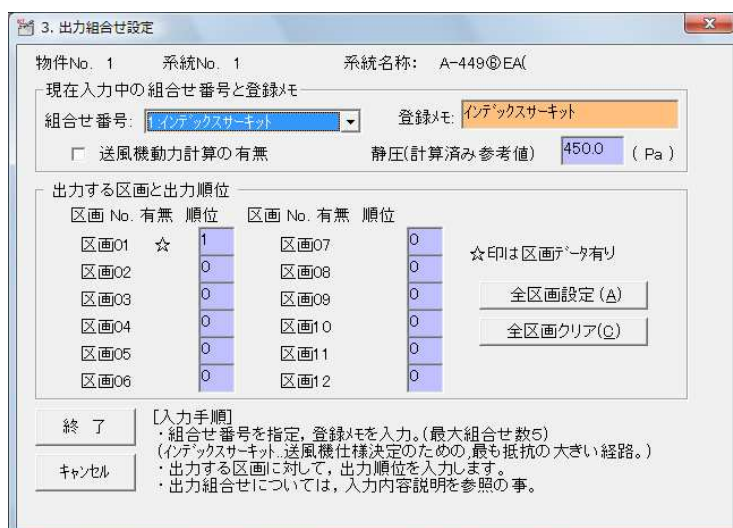


図 4-11

#### ※風速の算出に関して

【建築設備設計計算書作成の手引 令和 3 年版】282 ページより、風量をダクト断面積（長方形であれば円形換算した面積）で除した値に何かしらの係数が掛けられていることが想定されます。

この係数は【建築設備設計計算書作成の手引 令和 3 年版】、【建築設備設計基準 令和 3 年版】のどちらにも明記されておりません。

よって、TDC プログラムにおいては従前の方法で算出をしております。

## 第5章 マスターデータメンテナンス

### 1. マスターデータの入力

#### 1-1. ダクト材料の入力

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『1. ダクト材料』を選択すると [1. ダクト材料名称] (図 5-2) が表示されます。

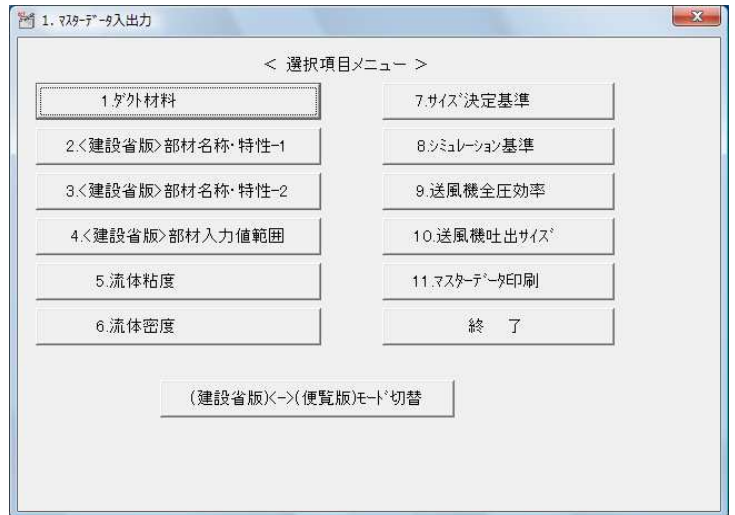


図 5-1

ダクト材料名称、略称、絶対粗度を入力します。

『終了』で [マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。

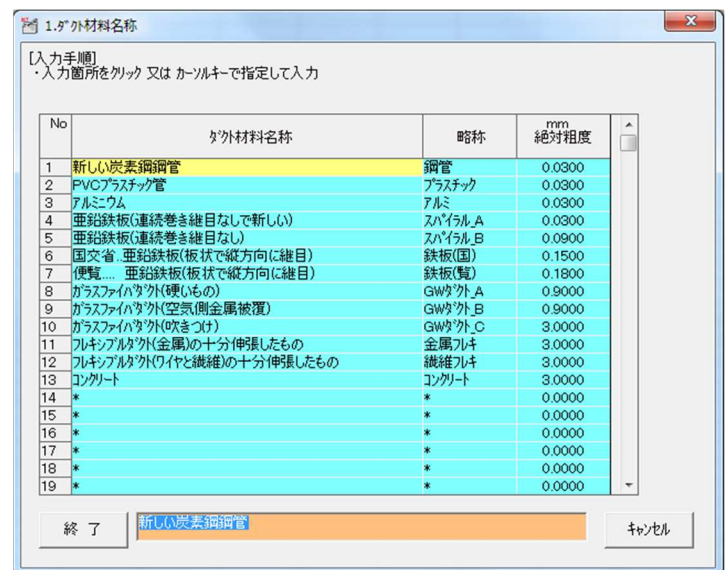


図 5-2

#### 1-2. 部材名称・特性入力

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『2. 部材名称・特性-1』を選択すると [2. ダクト部材名称・特性-1] (図 5-3) が表示されます。

部材名称、表示タイプ、矢印タイプ、入力タイプ、計算処理、データ分類を入力します。

『終了』で [1. マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。



図 5-3

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『3. 部材名称・特性-2』を選択すると [3. ダクト部材名称・特性-2] (図 5-4) が表示されます。

計算データ、計算サイズ条件を入力します。

『終了』で [1. マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。



図 5-4

### 1-3. ダクト部材入力値範囲入力

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『4. 部材入力値範囲』を選択すると [4. ダクト部材入力値範囲] (図 5-5) が表示されます。

ダクト部材を選択し、許容範囲を入力します。

『終了』で [1. マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。

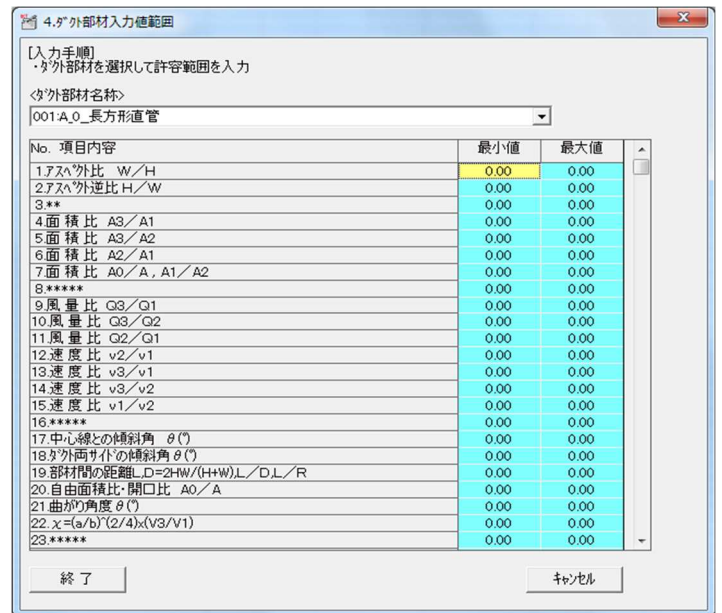


図 5-5

### 1-4. 流体粘度入力

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『5. 流体粘度』を選択すると [5. 流体粘度] (図 5-6) が表示されます。

登録名称、温度、粘度データを入力します。

新規に登録する場合は (現在登録中の流体) のドロップダウンリストをクリックすると、画面は図 5-7 のようになります。



図 5-6

リストより登録 No.を選択し、登録名称、温度、粘度データを入力し、『回帰分析』をクリックします。

『終了』で [1. マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。

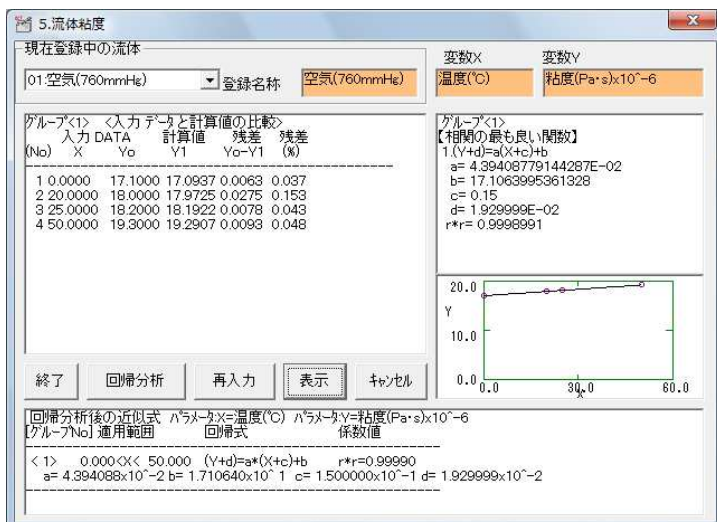


図 5-7

### 1-5. 流体密度入力

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『6. 流体密度』を選択すると [6. 流体密度] (図 5-8) が表示されます。

〈現在登録中の流体〉のドロップダウンリストをクリックすると、画面は図 5-9 のようになります。



図 5-8

リストより登録 No.を選択し、温度、密度データを入力し、『回帰分析』をクリックします。

登録名称の入力はできません。入力は流体粘度入力で行うことができます。『終了』で [1. マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。

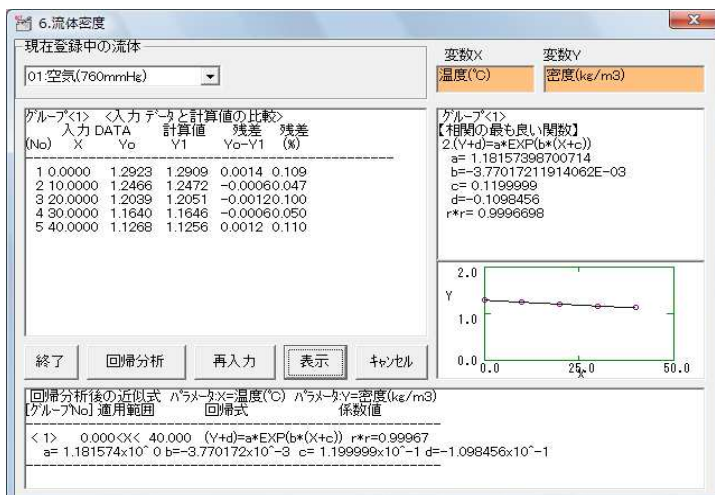


図 5-9

## 1-6. サイズ決定基準入力

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『7. サイズ決定基準』を選択すると [7. サイズ決定基準] (図 5-10) が表示されます。

No.区分	単位抵抗(Pa/m)	最大風速(m/s)	ダクト高さ(mm)
1区画1	1.00	12.00	400
2区画2	1.00	12.00	400
3区画3	1.00	12.00	400
4区画4	1.00	12.00	400
5区画5	1.00	12.00	400
6区画6	1.00	12.00	400
7区画7	1.00	12.00	400
8区画8	1.00	12.00	400
9区画9	1.00	12.00	400
10区画10	1.00	12.00	400
11区画11	1.00	12.00	400
12区画12	1.00	12.00	400

図 5-10

〈現在入力中の項目〉のドロップダウンリストをクリックすると、画面は図 5-11 のようになります。

入力 No. を選択し、名称、単位抵抗、最大風速、ダクト高さを入力します。

『終了』で [1. マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。

No.区分	単位抵抗(Pa/m)	最大風速(m/s)	ダクト高さ(mm)
01 設定条件(1)			
02:			
04:		12.00	400
05:		12.00	400
06:		12.00	400
07:		12.00	400
08:		12.00	400
6区画6	1.00	12.00	400
7区画7	1.00	12.00	400
8区画8	1.00	12.00	400
9区画9	1.00	12.00	400
10区画10	1.00	12.00	400
11区画11	1.00	12.00	400
12区画12	1.00	12.00	400

図 5-11

## 1-7. シミュレーション基準入力

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『8. シミュレーション基準』を選択すると [8. シミュレーション基準] (図 5-12) が表示されます。

No.区分	単位抵抗(Pa/m)	最大風速(m/s)	ダクト高さ(mm)
1区画1	2.50	17.00	400
2区画2	2.50	17.00	400
3区画3	2.50	17.00	400
4区画4	2.50	17.00	400
5区画5	2.50	17.00	400
6区画6	2.50	17.00	400
7区画7	2.50	17.00	400
8区画8	2.50	17.00	400
9区画9	2.50	17.00	400
10区画10	2.50	17.00	400
11区画11	2.50	17.00	400
12区画12	2.50	17.00	400

図 5-12

〈現在入力中の項目〉のドロップダウンリストをクリックすると画面は図 5-13 のようになります。

リストより No. を選択し、単位抵抗、最大風速、ダクト高さを入力します。

『終了』で [1. マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。



図 5-13

### 1-8. 送風機全圧効率入力

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『9. 送風機全圧効率』を選択すると [9. 送風機全圧効率] (図 5-14) が表示されます。

『入力項目選択』のドロップダウンリストをクリックすると、画面は図 5-15 のようになります。



図 5-14

リストより No. を選択し、静圧、全圧効率データを入力し、『回帰分析』をクリックします。

『終了』で [1. マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。

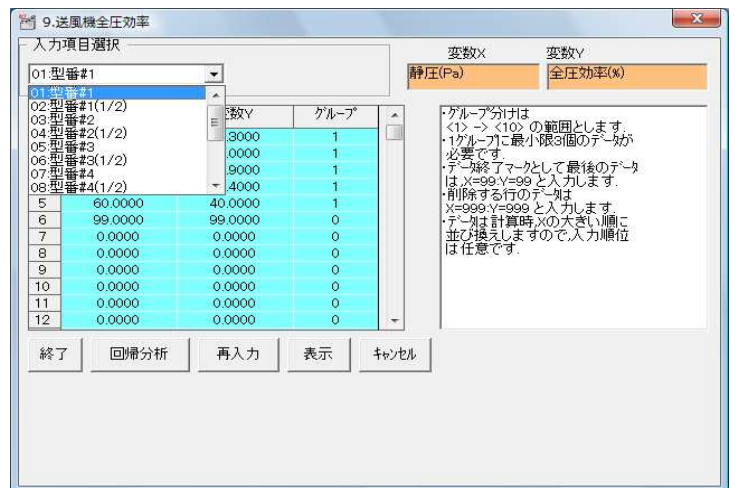


図 5-15

## 1-9. 送風機吐出サイズ入力

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『10. 送風機吐出サイズ』を選択すると [10. 送風機吐出サイズ] (図 5-16) が表示されます。

吐出サイズ及び個数を入力します。  
『終了』で [1. マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。

No	片吸込 W (mm)	片吸込 L (mm)	片吸込 個数	両吸込 W (mm)	両吸込 L (mm)	両吸込 個数
1. 型番#1	130	165	1	260	165	1
2. 型番	190	240	1	380	240	1
3. 型番#2	230	305	1	440	280	1
4. 型番	280	375	1	560	360	1
5. 型番#3	355	475	1	675	430	1
6. 型番	370	580	1	740	580	1
7. 型番#4	420	660	1	840	660	1
8. 型番	480	745	1	960	745	1
9. 型番#5	530	825	1	1060	825	1
10. 型番	580	910	1	1160	910	1
11. 型番#6	630	990	1	1260	990	1
12. 型番#7	800	1120	1	1600	1120	1
13. 型番#8	870	1290	1	1740	1290	1
14. 型番#9	980	1450	1	1960	1450	1

図 5-16

## 2. マスターデータの印刷

[1. マスターデータ入出力] (図 5-1) で『11. マスターデータ印刷』を選択すると [11. マスターデータ印刷] (図 5-17) が表示されます。

図 5-17

印刷したい各印刷項目の“印刷有無”にチェックをつけて設定します (図 5-18 では 1 ~ 10 が設定されています)。

『印刷開始 (P)』をクリックすると設定された内容が印刷出力されます。

図 5-18

『全項目印刷有マーク』……………  
『印刷有無マーク初期化』……………

全項目の『印刷有無』を有りにする場合  
全項目の『印刷有無』を無しにする場合

『終了』で [1. マスターデータ入出力] (図 5-1) へ戻ります。



## 第6章 システムユーティリティ

### 1. ドライブ環境の設定

起動メニューの『C. システムユーティリティ』を選択すると [C. システムユーティリティ] (図 6-1) が表示されます。

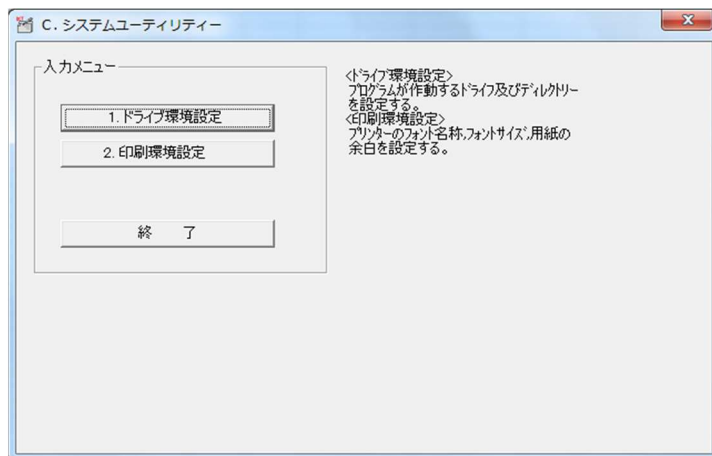


図 6-1

『1. ドライブ環境設定』を選択すると [1. ドライブ環境設定] (図 6-2) が表示されます。



図 6-2

プログラムおよび物件データのいずれかの変更したい方をクリックすると、図 6-3 が表示されます (図はプログラムを変更)。

変更後のドライブ、フォルダを入力します。ただし、プログラムのフォルダを変更することはできません。



図 6-3

物件データは「Project」を最後に入力してください。

物件データを変更する場合『2. 物件データ』をクリックします (図 6-4)。

変更後のドライブ、フォルダを入力するか、以降の操作により変更することができます。

〈ドライブ/ディレクトリ検索〉のドライブのドロップダウンリストをクリックすると、画面は図 6-5 のようになります。



図 6-4

物件データが入っているドライブを選択します  
図 6-6 が表示されます。



図 6-5

図では物件データは C ドライブの「¥Tdc\_w¥KDUCTR3¥Project」にあるデータを使用することになります。

『終了』で [C. システムユーティリティ] (図 6-1) へ戻ります。



図 6-6

## 2. 印刷環境の設定

[C. システムユーティリティー] (図 6-1) で『2. 印刷環境設定』を選択すると [2. 印刷環境設定] (図 6-7) が表示されます。

FONT 名称、FONT サイズを選択します。

上余白、左余白を入力します。

『終了』で [C. システムユーティリティー] (図 6-1) へ戻ります。

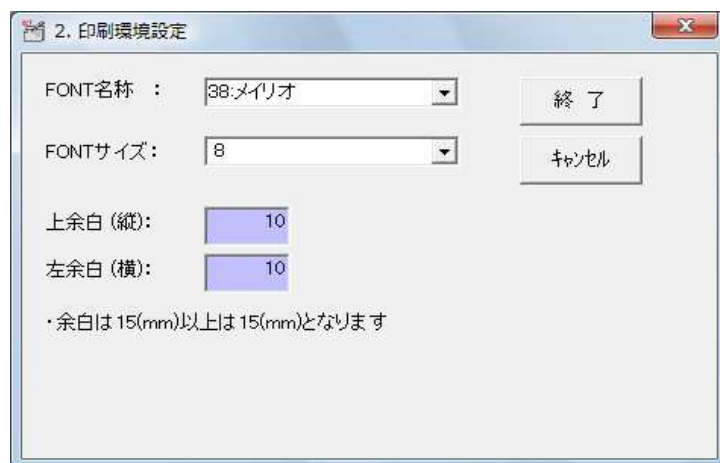


図 6-7